

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2026年2月6日

目次

2026年 3 月期 3 Q

Section 1	ハイライト	P3
Section 2	2026年 3 月期第 3 四半期 決算概要	P5
Section 3	セグメント別業績	P10
Section 4	施策と進捗状況	P15
Section 5	トピックス	P21
	Appendix	P31

Section 1 ハイライト

2025年7月に「Things Revolution株式会社」を設立したことに伴い、2026年3月期第2四半期より連結決算に移行いたしました。

なお、当資料の前期及び前年同期の数値は、参考値として「ぷらっとホーム」単体の数値を記載しております。

ハイライト

2026年3月期3Q

1

売上高：増収 売上総利益：増益

売上高	： 974百万円	+93百万円	+10.6%	(前年同期：881百万円)
売上総利益	： 418百万円	+83百万円	+25.0%	(前年同期：334百万円)

(要因) ネットワーク事業の売上が大幅に増加；利益率向上

2

四半期純利益：黒字着地、営業利益も黒字転換

四半期純利益	： 4百万円	+21百万円	(前年同期：▲16百万円)
営業利益	： 7百万円	+54百万円	(前年同期：▲47百万円)

(要因) ネットワーク事業の利益増加

3

戦略：ソフトウェア・サービス型の事業形態への転換

・ソフトウェア・サービス収益の強化

ネットワークアプライアンス製品の開発・販売の強化を継続

・Web3技術を活用した実証検証の環境構築や技術サービスを提供

2025年7月30日に「Things Revolution株式会社」を設立

※前年同期の数値はぶらっとホーム単体の数値を参考値として記載

Section 2 2026年3月期第3四半期 決算概要

増収・増益

- ネットワーク事業が全般的に好調に推移
販売費及び一般管理費は、展示会への出展など積極的な事業推進活動を実施するとともに、事業推進のための人材を確保
- Web 3 事業の開発投資を継続

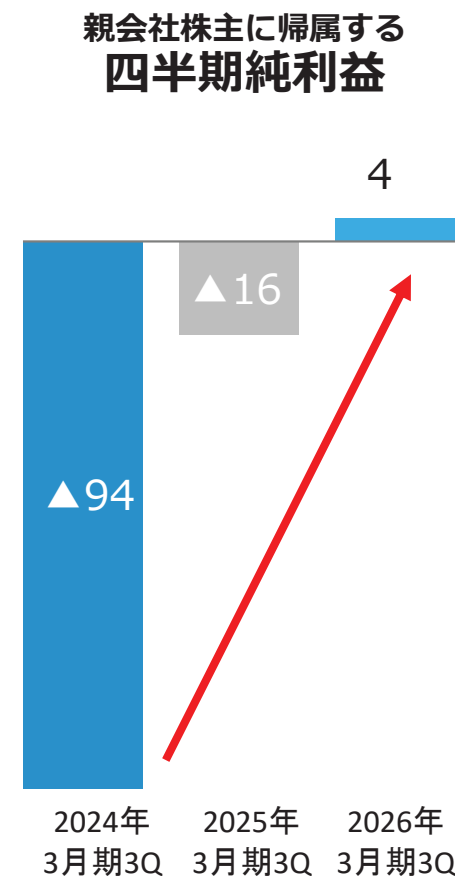
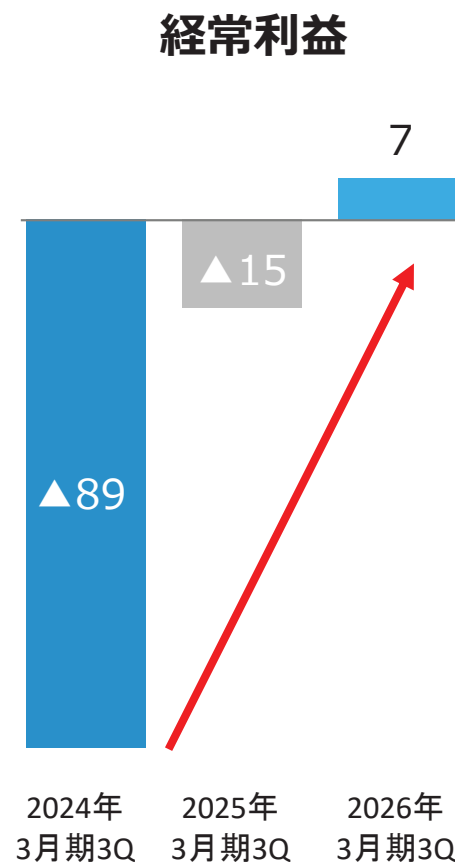
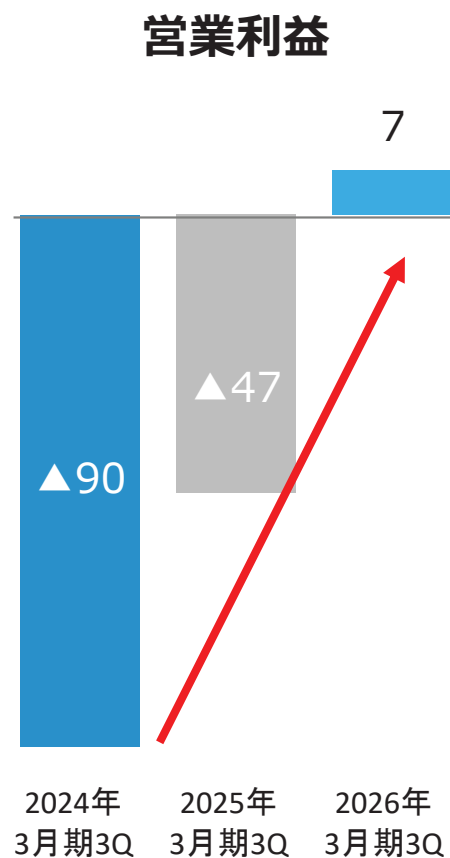
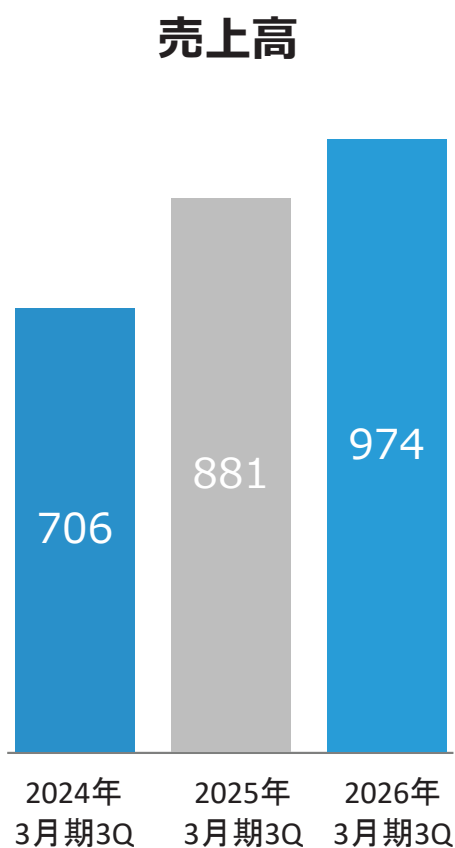
(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期			2026年3月期	
	3Q	3Q	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	881	974	+93	10.6%	1,300	75.0%
営業利益	▲ 47	7	+54	—	19	40.1%
経常利益	▲ 15	7	+22	—	36	21.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 16	4	+21	—	12	40.3%

※2025年3月期 3 Qの数値はぷらっとホーム単体の数値を参考値として記載

決算概要

増収・増益

単位：百万円



※2024年3月期3Q及び2025年3月期3Qの数値はぷらっとホーム単体の数値を参考値として記載

連結損益計算書

(単位：百万円)	2025年3月期 3 Q		2026年3月期 3 Q		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	881	100.0%	974	100.0%	+93	10.6%
売上総利益	334	37.9%	418	42.9%	+83	25.0%
販売費及び 一般管理費	381	43.3%	410	42.1%	+28	7.5%
営業利益	▲ 47	▲ 5.4%	7	0.8%	+54	-
経常利益	▲ 15	▲ 1.7%	7	0.8%	+22	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 16	▲ 1.9%	4	0.5%	+21	-

※2025年3月期3Qの数値はぷらっとホーム単体の数値を参考値として記載

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2025年3月		2025年12月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	676	93.2%	721	93.4%	+45	6.8%
（現金預金）	355	49.0%	312	40.4%	▲42	▲ 12.1%
（売掛金及び 契約資産）	105	14.5%	123	16.0%	+18	17.6%
（棚卸資産）	202	27.9%	240	31.1%	+37	18.7%
固定資産	49	6.8%	50	6.6%	+1	3.4%
資産合計	725	100.0%	772	100.0%	+47	6.5%
流動負債	272	37.5%	310	40.2%	+38	14.1%
固定負債	36	5.0%	36	4.7%	0	0.4%
負債合計	308	42.5%	347	44.9%	+38	12.5%
純資産	416	57.5%	425	55.1%	+8	2.1%
負債純資産合計	725	100.0%	772	100.0%	+47	6.5%

※2025年3月の数値はぷらっとホーム単体の数値を参考値として記載

Section 3 セグメント別業績

セグメントの概要

ネットワーク事業

コンピューター関連製商品とサービス

自社製品の開発・製造・販売

- ・ネットワークアプライアンス
- ・IoTゲートウェイ
- ・マイクロサーバー

一般商材の仕入販売



ぷらっとホーム

Web3事業

暗号資産に係る
開発・発行・販売・取得
及び関連するサービス



Things
Revolution

セグメント別の状況

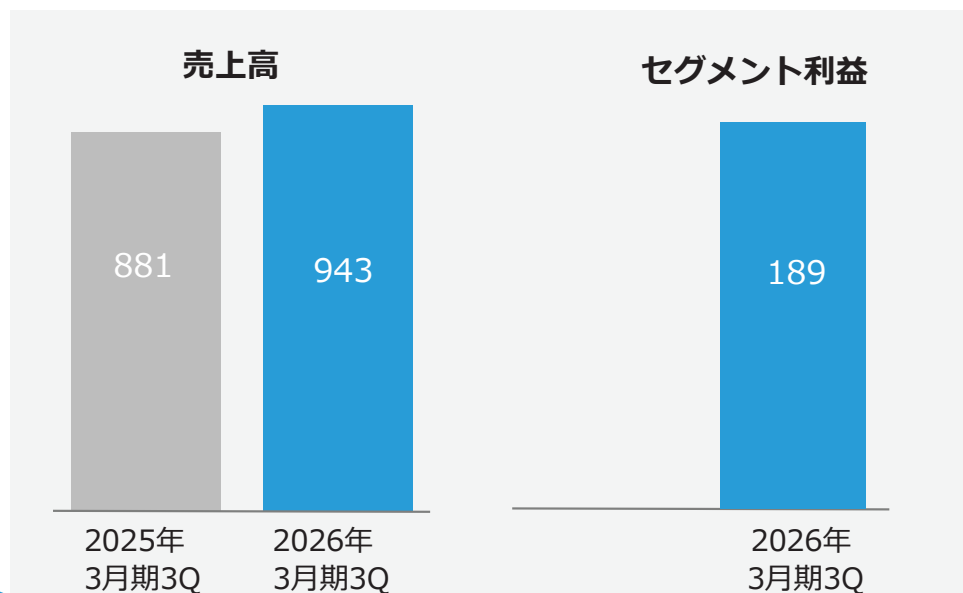
当社は従来、コンピューター関連製商品とサービス等を提供する単一セグメントとしておりましたが、We b 3 事業の本格化・事業化に備えて子会社を設立したことに伴い、「ネットワーク事業」と「We b 3 事業」の2区分に変更いたしました。

(単位：百万円)	2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q	増減額	増減率
ネットワーク事業				
売上高	881	943	+62	7.1%
セグメント利益	-	189	-	-
We b 3 事業				
売上高	-	30	+30	-
セグメント利益	-	▲ 37	-	-
調整額（全社費用）				
売上高	-	-	-	-
セグメント利益	-	▲ 144	-	-
合計				
売上高	881	974	+93	10.6%
営業利益	▲ 47	7	+54	-

※2025年3月期3Qの数値はぷらっとホーム単体の数値を参考値として記載
2025年3月期3Qのセグメント利益については、集計を行っておりませんので記載しておりません。

大幅増収

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期			2026年3月期	
	3Q	3Q	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	881	943	+62	7.1%	1,250	75.5%
セグメント利益	-	189	-	-	-	-



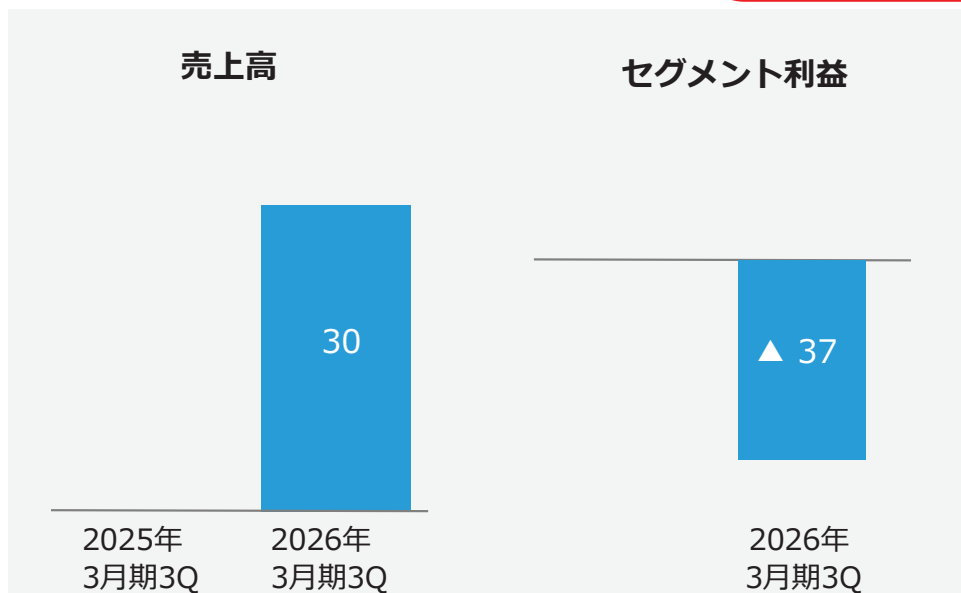
【要因】

- ・ネットワークアプライアンスとマイクロサーバーのそれぞれの増販に努めた結果、売上高が好調に推移

※2025年3月期3Qの数値はぷらっとホーム単体の数値を参考値として記載
2025年3月期3Qのセグメント利益については、集計を行っておりませんので記載しておりません。

投資先行

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期			2026年3月期	
	3Q	3Q	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	-	30	+30	-	50	61.0%
セグメント利益	-	▲ 37	-	-	-	-



【要因】

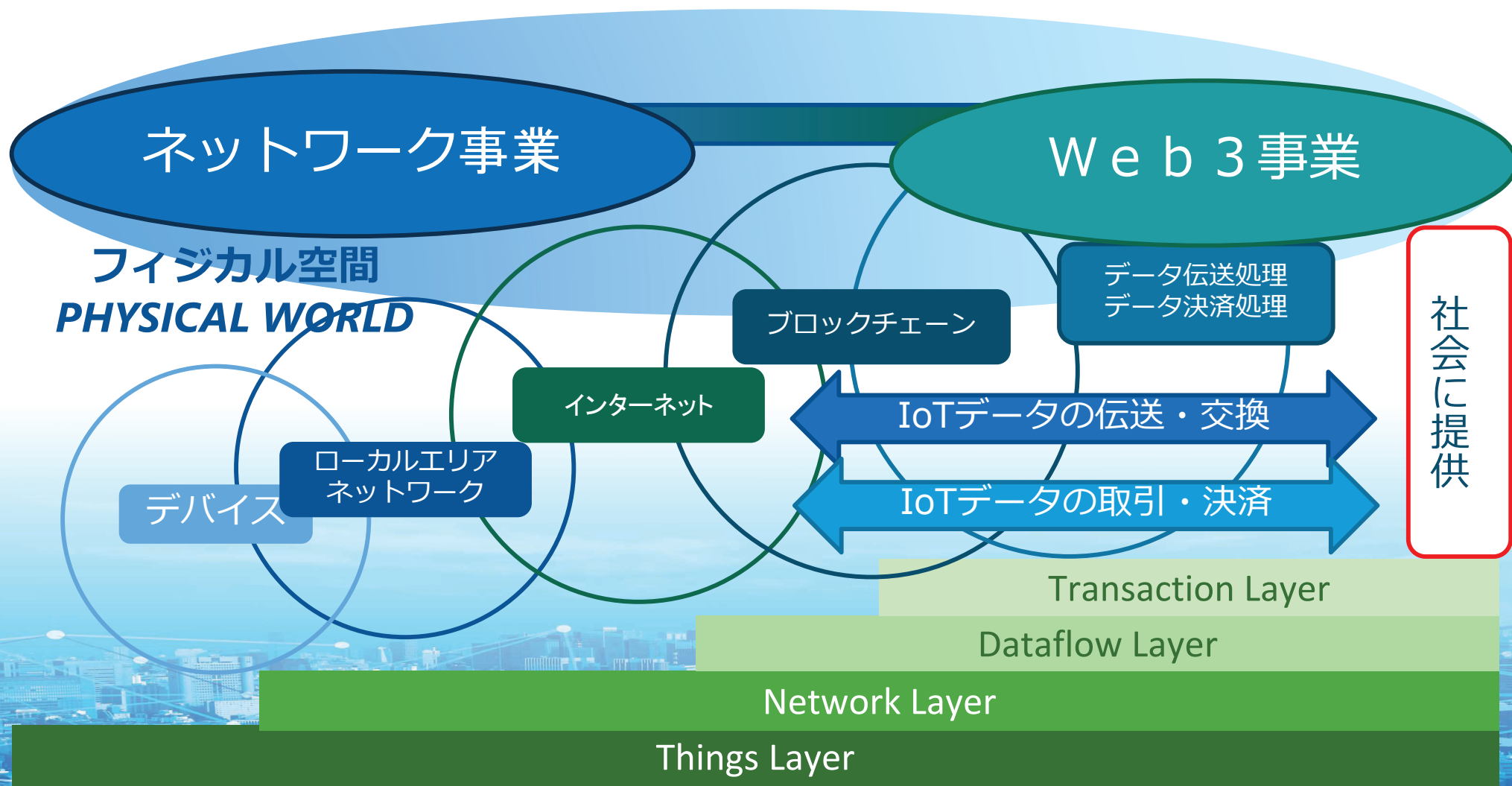
- ・ Web 3を組み込んだアプリケーション開発、Web 3技術支援等の売上
- ・ 子会社Things Revolution設立を含め、Web 3の事業開発投資を先行

※2025年3月期3Qの数値はぴらっとホーム単体の数値を参考値として記載
2025年3月期3Qのセグメント利益については、集計を行っておりませんので記載しておりません。

Section 4 施策と進捗状況

事業領域

企業ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」 「Connectivity for Everything」



企業ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」のため、
Web2のネットワーク事業に加え、Web3のブロックチェーン領域の事業を開始

ハードウェア型の事業形態から
ソフトウェア・サービス型の事業形態へ
～ストック・サービス・レベニユーの増加～

ネットワーク事業 ネットワークアプライアンスの強化

ネットワーク事業は収益化事業に注力

- ・ネットワークアプライアンスの販売を積極強化
- ・IoTゲートウェイ、マイクロサーバーの維持・成長を実施

Web 3 の事業開発

新領域の事業化へ注力

- ・エコシステム推進と、商業化（ビジネスモデル）開拓を実施
- ・新規テクノロジーによる実証事業を推進

施策と進捗状況

(1) ネットワーク事業

施策	進捗状況
ソフトウェア・サービスの強化	<p>ネットワークアプライアンス製品の開発・販売強化を継続</p> <p>専用ソフトウェアを搭載し付加価値を高めたネットワークアプライアンス製品を収益化の柱に位置付け</p> <ul style="list-style-type: none">- スtock・サービス・レベニューの増加- 高付加価値製品の販売強化・ラインナップ拡充
	<ul style="list-style-type: none">・ ログ可視化アプライアンス「EasyBlocks Syslog Reporter」を発表・ 営業強化を目的とした組織変更の実施

施策と進捗状況

(2) Web3事業

施策	進捗状況
ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入	<ul style="list-style-type: none">・ KGRIと、IoTとブロックチェーンを連携する次世代技術「サイバーフィジカルワールド実現に向けたブロックチェーンプロトコル」の共同研究を開始・ 「大曲の花火」スマートフォン用公式アプリを大幅バージョンアップ・ 次世代L2ブロックチェーン「INTMAX」のノード運用（ブロックプロデュース）を開始・ 日立ソリューションズ東日本とWeb3技術を活用した地方創生を実現する「ねぶた祭DAO」の実証実験を開始・ INTMAX・スカパーJ SATと国内データセンターにおけるブロックチェーン実証を開始・ 日立製作所とNFT技術と生体認証技術を連携させたシームレスなWeb3体験の創出に向けた実証を開始・ モノのトークン化を実現する「ThingsDAO」の稼働開始と特許取得、ネイティブトークン発行準備を開始・ 日立産機システム、日立グローバルライフソリューションズ、インターホールディングスと共に「蔵出し真空酒」サービスを正式リリース・ 子会社「Things Revolution株式会社」設立

子会社設立について

(1) 目的

当社はWeb 3の事業化に取り組み、実案件を獲得するなど事業を本格的に展開できる時期に至りつつあります。しかしながら、Web 3事業は取引の質が当社の従来の事業とは大きく異なり、業務内容や適用される法令が異なることも想定されることから、子会社を設立し、これを別法人として運営・発展させることを目的とするものです。

(2) 概要

名称	Things Revolution株式会社
本店所在地	東京都千代田区九段北四丁目1番3号
代表者	代表取締役社長 鈴木 友康（当社代表取締役社長）
事業内容	暗号資産にかかわる開発・発行・販売・取得及び それに関連するサービス
資本金	3,000万円
設立年月日	2025年7月30日
株主	ぷらっとホーム株式会社（100%）

※2026年3月期第2四半期より連結決算に移行

Section 5 トピックス

ネットワークアプライアンス製品の強化

Syslog機能を強化したログ可視化アプライアンス 「EasyBlocks Syslog Reporter」を発表

近年、ログの長期保存や可視化、トラブルシューットの迅速化に対するニーズが増加し、特にヤマハ製ルーター・アクセスポイントを用いたネットワーク構築において、より柔軟で精緻なSyslog解析が求められていました。これらの課題に応えるべく、ぷらっとホームは主力機能であるSyslogサーバーの強化を軸に製品リニューアルを実施いたしました。



「蔵出し真空酒」サービスを正式リリース

酒蔵で真空容器に充填した日本酒を、空気に触れさせずに低温で流通させ、導入先の低温サーバから提供することで、“蔵出し直後の瞬間”をどこでも体験できる新しい日本酒提供モデル

ドリンクジャパン2025（12/3～12/5・幕張メッセ）にて、5社共同で初公開・体験展示

共同出展パートナー（5社）と役割

ぷらっとホーム株式会社	IT/IoT/Web3 技術
株式会社インターホールディングス	真空技術
日立グローバルライフソリューションズ株式会社	真空酒提供用 低温サーバ
株式会社日立産機システム	温度×時間センシングラベルおよび品質可視化システム／ラベル印刷システム
協栄産業株式会社	IoT機器・各種センサーの取り扱い

日立製低温サーバ



※商品のデザインは改良等のため予告なく一部変更することがあります。

モノのトークン化を実現する「ThingsDAO」の稼働開始と特許取得、ネイティブトークン発行準備開始

ThingsDAOの導入とL2環境での稼働確認

ThingsDAOは、モノ、モノに関わる広範なシステムやサービスそしてヒトを含む多様な参加者や関係者(投資家、受益者など)を、矛盾なくかつスケーラブルに取り扱うための分散型自律組織(DAO)の枠組み ThingsTokenの稼働基盤としてのThingsDAOは、当社実証プロジェクトで採用され、Ethereumコンソーシアムチェーンに加え、L2環境のOptimismでの稼働を確認

ブロックチェーンに関する基本特許の取得

- (第1特許) IoTにおけるデータ流通を、ブロックチェーンを利用することで実用可能にする技術
- (第2特許) 非金融領域の現実資産を取り扱うRWA技術
- (第3特許) ThingsTokenとThingsDAOの成立方法に関する技術

ネイティブトークン発行に向けた準備を開始

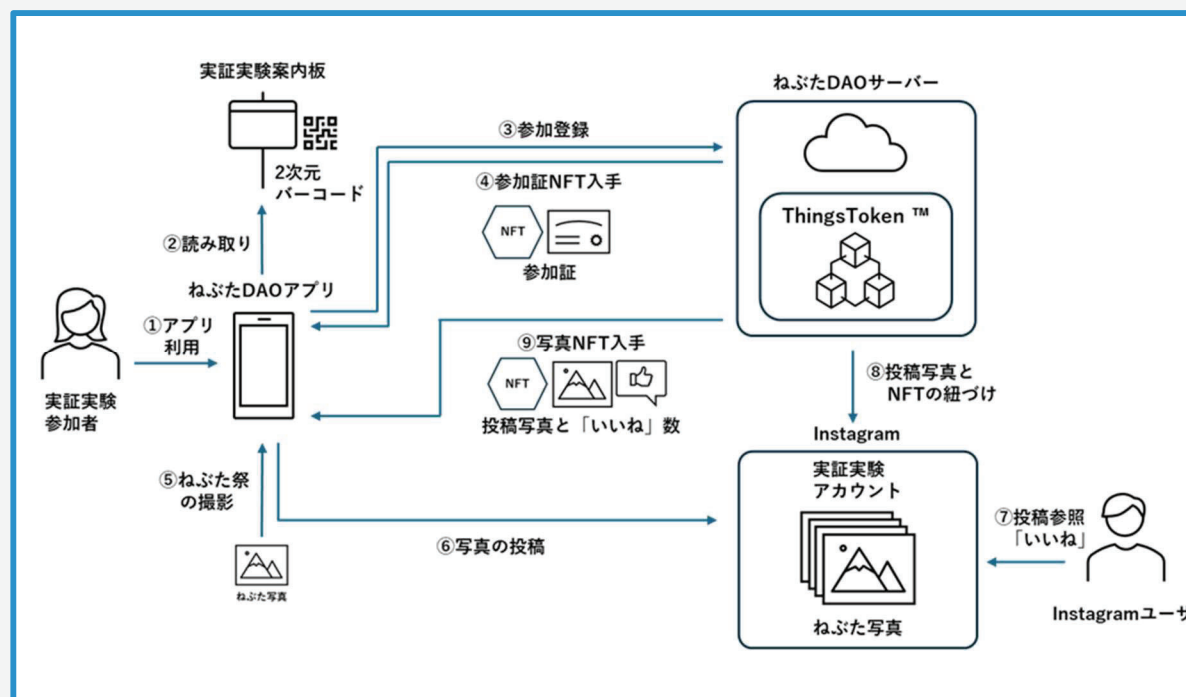
実証結果及び特許取得の成果を踏まえ、ThingsToken及びThingsDAOのネイティブトークンの発行を視野に入れた準備活動を開始

株式会社日立ソリューションズ東日本と Web3技術を活用した地方創生を実現する 「ねぶた祭DAO」の実証実験

ねぶた祭参加者へのデジタル参加証明(NFT)発行によりデジタル空間の発信・交流・特典提供を促進、地域活性化へ貢献

本実証実験は青森ねぶた祭の開催期間である8月2日から8月7日に実施

「ねぶた祭DAOアプリ」により祭り参加者がデジタル上で協働・交流できる場を構築することで、伝統文化と最新技術が融合した新しい地域活性化モデルの創出を目指します。



INTMAX・ぷらっとホーム・スカパーJSAT 国内データセンターにおける INTMAXブロックチェーン実証を開始



新しいプライバシー保護技術（ゼロ知識証明等）・IoTトークン化・データセンターを融合した次世代分散型インフラの実現へ

本実証は、情報セキュリティ上の社会課題であるオンライン情報の改ざん防止、ならびに、サービスユーザーのプライバシー保護の実現に向けて、Web3型分散ネットワークを構築し、全国・全地球規模で安定稼働するINTMAXの分散型インフラの確立を目的としています。将来的にはThingsToken によるデータセンター内RWAとブロックチェーンのリアルタイム統合をはじめとした、Web3時代の新しい分散型経済圏形成への貢献を目指します。

株式会社日立製作所とNFT技術と 生体認証技術を連携させたシームレスな Web3体験の創出に向けた実証を開始

デバイスに捉われず誰もが安心・安全にWeb3を利用できる環境構築をめざす

本実証の第一弾として、
10月4日に開催された屋外
イベント「大曲の花火 -秋
の章」にて、入場管理にお
ける両者の技術の連携の有
効性を検証



実証実験のイメージ図

ブロックチェーン技術の物流分野への 活用に関する共同研究を開始

ロジガード株式会社

Plat' Home
★ TECHNOLOGY to serve you.

ロジガード株式会社とブロックチェーン技術の物流分野への活用に関する共同研究 を開始することに合意し、技術提携契約を締結

背景と内容

昨今の物流業界を取り巻く環境は、2024年問題における人手不足や運送コストの上昇など多岐にわたり、業界全体として効率化が急がれています。

ロジガードが提供するクラウドWMS「ロジガードZERO」は、1,700を超える物流現場にてご利用いただいており、在庫管理業務におけるさまざまな情報・データが日々蓄積されています。

その物流ビッグデータとブロックチェーン技術を融合する共同研究を実施しました。

本取り組みは、ぷらっとホームが開発する「ThingsToken™」と、「ロジガードZERO」のデータを組み合わせることによって、物流現場でのWeb3技術活用の可能性を引き出し、物流業界への貢献を目指すものです。

KGRIと IoT・ThingsToken™を連携する 次世代技術の共同研究を開始

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（以下KGRI）と「サイバーフィジカルワールドを実現させるための現実的なブロックチェーンプロトコル」に関する共同研究契約を締結

背景と内容

急速に発展するIoTシステムと、信頼性の高いデータ管理を実現するブロックチェーンシステムを、安全かつ効率的に連携させるための、実用的なプロトコル（通信規約）を研究・開発することを目的としています。物理世界（フィジカル）のモノやデータを、仮想空間（サイバー）でセキュアに連携・活用する「サイバーフィジカルワールド」の実現に向けた基盤技術の確立を目指します。

研究内容： 1. IoT、モノ（Things）を扱うトークン技術「ThingsToken™」の研究・開発
2. 必ずしもインターネット接続を持たないモノ（Things）を扱う技術の研究
3. インターネットおよびブロックチェーンの各種規格化への準備

研究代表者： 慶應義塾大学KGRI：特任教授 村井 純

ぷらっとホーム： 代表取締役社長 鈴木 友康

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

本件に関するご連絡先
ぷらっとホーム株式会社 IR担当
03-5213-4376（平日9:30-17:00）

（注）スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。

Appendix

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設 立：1993年3月

決算期：3月

上 場：東証スタンダード 6836

資本金：1億円（2025年3月31日現在）

社 長：鈴木 友康

売 上：11億6,738万円（2025年3月期）

社員数：37人(2025年12月31日現在) 連結子会社：Things Revolution株式会社

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供
- 暗号資産にかかわる開発・発行・販売・取得及びそれに関連するサービス

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

当社事業による社会貢献



環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- 当社の技術力により、産業界におけるI o T化を促進。産業と技術革新の基盤を創出（SDGs目標9）
- 大型で電力を消費するサーバーに代替する製品として、当社製品は小型かつ電力消費量低減を実現。製造者としての「つくる責任つかう責任」（SDGs目標12）
- 当社のパートナー戦略は、持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化（SDGs目標17）

当社の事業展開により、顧客とともにカーボンニュートラルに取り組み、SDGsを実現し、社会に貢献してまいります。